

人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



2013 「ジュリアス・シーザー」



2015 「Go!」



2019 「高丘親王航海記」

人形劇の名舞台を“振り返る”ということですが、昔々から名前やタイトルを覚えられない私には大変なことでした。記録も何もつけていなかったのも、自分の中に断片的に残っている作品の内容と公演場所を検索。皆さまが昔々にSNSなどに投稿していたものがヒットすればラッキー、なければ言葉を加えてさらに検索、検索。そうして私の心に眠っていた作品は蘇りました。

まずは2013年に公演された、子供のためのシェイクスピアカンパニー（現イエローヘルメッツ）の『ジュリアス・シーザー』。詩的な長台詞や説明台詞はつつこみが入ったりわかりやすく組まれていて、おいてけぼりにされないシェイクスピア作品に出会ったと思いました。演者の身体は無駄な表現が省かれていて観やすく、二時間があっという間に感じる程引き込まれて心が満たされました。舞台美術はテーブルと椅子で構成され、衣裳もシンプルなもの。場面の切り替わりの移動が美しく、黒いコートでの乱れの無い動きやクラブが印象的でした。そして可愛らしく時には恐ろしいシェイクスピア人形も、ひとに混じりしかり役割を果たしています。

次に2015年に公演されたポリーナ・ポリソヴァの『GO!』。これはセリフのない舞台でした。白くマッシュルームのような髪型で頑固そうな表情の老夫人の仮面（下半分）に最低限の舞台装置。薄暗い舞台で灯るランプがキレイでした。クスクスと笑える老夫人的お茶目な行動が愛しかった。壁や床にテープで外の景色や思い出が描かれ、そして変化していく。ポリーナの細やかな身体表現で葛藤や寂しさや虚しさなんかにぐっと胸が締め付けられました。ドアを開けた老夫人は吹切ったのか諦めたのか、けれど足どりに前向きさを感じました。始まってから最後まで好きだなーと何度も何度も思いながらみていた作品でした。

そして2019年公演のITOプロジェクト『高丘親王航海記』。糸操りをしっかり観たのはこの作品が初めてでした。前後したり交差したりあんなにスムーズに動いていると、どうしても繋がっている先が気になって糸を追ってしまいますね。終始複数の人形の単純でありながら複雑な動きに興奮していたのですが、私は奇怪なものが好きなので、特に不思議な形容の人形の登場にワクワクが止まりませんでした。芋虫のようなもの、鳥のようなもの、妖怪のようなもの、ちょっと気味悪いけれどその魅力的な動きに夢中でした。

蛇足で。私の記憶してる最も古い作品は、東京児童劇場「ブレーメンの音楽隊」なのですが、私の初めての観劇作品だと記憶しています。4歳の誕生日の翌日、母と2人で観に行きました。その時に買った本は表紙が剥がれて、くすんで、ボロボロになった今も大切に私の本棚に仕舞ってあります。

愛知人形劇センター理事 古家暖華



WANTED!!

**「ひまわりホールアートラボ」
後期受講生
若干名募集します!**

愛知人形劇センターでは、現在15名にて好評開催中の「モノとカラダを思考してパフォーミングアーツの新たな水平を探る〜ひまわりホールアートラボ」2022年度後期受講生を、以下の様に若干名募集します。ご参加お待ちしております。

会 期：2022年12月7日（水）～2023年3月26日（日）
会 場：損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
募集対象：舞台表現で今後のスキルアップを目指す方
受 講 料：一般50,000円、U25（25歳以下）25,000円
申込方法：氏名・フリガナ・生年月日・年齢・性別・住所・連絡先電話番号及びメールアドレス・舞台経験・自身の強みと弱み・当ラボを経てどうなりたいか、を下記までお送りください。

mail@aichi-puppet.net
応募締切：2022年11月30日（水）

P新人賞2022募集開始!

P新人賞の「P」は、人形劇パベットのP、オブジェ+身体パフォーマンスのPです。人形劇ジャンルの明日を担う斬新な才能を発掘するために今年度も開催します。

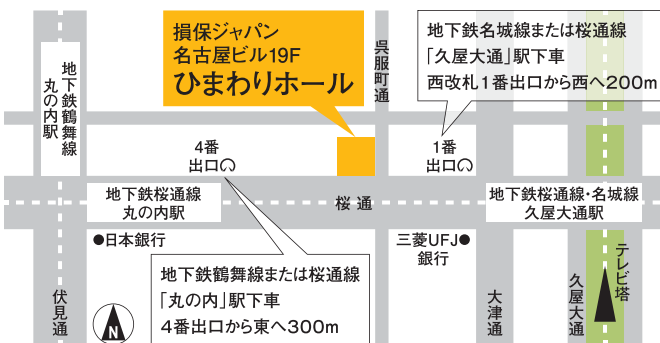
P新人賞は、年齢、経験、国籍、アマ・プロは問わず、「新人」と思う人すべてに応募資格があります。人形劇やオブジェ、身体表現を軸とし、上演時間は40分以内・出演者5名までの作品を募集します。また、2023年2月17日（金）～19日（日）に損保ジャパン人形劇場 ひまわりホールで開催される最終選考上演会（仕込み日含む）にて上演可能な団体に限ります。

新人と思った、あ・な・た、が対象です。ご応募お待ちしております。
下記応募フォームよりご応募ください。
https://aichi-puppet.net/p_newface/

応募フォームは
こちら



P新人賞2021受賞
APINUN（山村佑理×あづみびの／東京都）「牛」より



特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
<https://aichi-puppet.net/> MAIL: mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
あづ
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
<https://aichi-puppet.net/> MAIL: mail@aichi-puppet.net

あづ

Aichi Puppetry Center

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌



アマチュアだからこその情熱



愛知県下アマチュア人形劇団・合同製作
人形劇団ひつまぶし「うたのすきなりゅう」 脚本・演出：たかはしちげん（人形劇団わたぐも）